

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(愛媛県立今治南高等学校)

学校番号 (15)

評 価 実 施 日		令和5年2月20日(月)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	佐伯由紀子	学校評議員	
	渡辺 健三	学校評議員	
	渡辺 毅	学校評議員	
	渡部 輔	学校評議員	
	宇高 秀志	学校評議員	
	田窪 鉄也	地域代表、社会教育指導員	
	白川 亨	保護者代表、PTA会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>(1)学習活動 ICT機器の活用をはじめ、さまざまな活動を取り入れ学習活動の充実に努めていると感じる。これからの時代や地域社会に求められる生徒の育成のために、多様な学び方を取り入れながら学習活動の充実に引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>(2)生徒指導 身だしなみ等の生徒指導が適切に行われている。笑顔と元気なあいさつが南校の良さである。身だしなみ等については時代の流れと共に柔軟に考え、生徒会やPTAと相談しながら検討してはどうか。</p> <p>(3)進路指導 生徒一人一人の進路実現に向けて努力され、進学・就職の成果に反映されている。今後は就職先の選択肢が増えるといい。資格取得や検定試験がより多く取得できるように指導をお願いしたい。</p> <p>(4)特別活動 部活動の全国大会出場や、園芸クリエイト科の地域交流活動が素晴らしい。ボランティア活動は自粛の影響が大きかったが、関心のある生徒は多いと思うので、地域との連携をお願いしたい。</p> <p>(5)豊かな人間性 人権だよりや人権劇は日頃から人権意識の高揚に努めていると感じる。いじめの解消については、見えてないいじめがあるのではないかという気持ちを常に持って生徒と接していただきたい。</p> <p>(6)学校経営 業務改善に向けた工夫がみられた。学校安全では事件や事故の対応について、マニュアル等が形式的でないか、活用できるものかを再確認しておくとい。</p>	<p>一人1台端末と電子黒板を使った授業が定着している。教員同士が情報共有や技術指導を行い、授業の質の向上に努める。また、地域と連携した学びを充実する。</p> <p>家庭と学校が密に連携して共通認識のもと指導を行う。規程変更の必要があれば、柔軟に検討を行う。</p> <p>近年の入学試験の傾向が推薦、自己推薦へ偏重している。そのためには積極的に自己PRができるような活動に参加させる。</p> <p>本校の特色である部活動や地域連携活動を活性化し、知名度向上や生徒確保に繋げる。ボランティア活動は一人1回以上の参加を目指す。</p> <p>些細なサインからいじめや悩みを見逃さないように努める。教職員は生徒が安心感を持てる寄り添った指導を行う。</p> <p>メンタルヘルスケアや休暇の取得によって、ワークライフバランスを目指した職場づくりを行う。</p>